

## 「きばいやんせ」のイメージ

R238 G0 B38  
4R 4.5/14

鹿児島弁で「頑張ってください」の意。  
「きばいやんせ」。焼酎の商品名、鹿児島  
県出身歌手の歌、地元開催のイベント  
等のタイトルとして使われるなど、鹿  
児島県で愛されている郷土の言葉のひ  
とつ。

## ちゃんぼもち

R212 G164 B96  
2.5Y 7/6

島市で古くから親しまれている郷  
子。もち米や上新粉で作った榎門  
餅・団子に竹串を二本刺し、上か  
い砂糖醤油のトロミだれをかけた。  
語源は「両棒」が転訛したもので、  
武士が刀を二本脇に差している姿  
したものとされている。

## 68. 「てけてけ」のイメージ

R265 G230 B10  
3Y 8/13

「そこそこ、適当に」という意味。同様の  
言葉は宮崎県でも使われている。さら  
に神楽謡などには「チーデー」とい  
う。同じ意味の似た言葉がある。「て  
け」および「てけてけ」は、南の方か  
ら伝わってきた言葉・慣用語といわ  
れている。

## 70. しろくま

R248 G226 B201  
5Y 9/15

鹿児島市製菓のきき果。その下に知識  
練乳をかけて和紙などの裏紙を張り付  
け、その上に小豆餡などをのせたもの。  
鹿児島市内の多くの喫茶店や飲食店  
で提供されている。カップ入り菓やハー  
イクのアイスミルクなどの工場製品も製  
造されている。

## 37. 高古集成館

R160 G142 B129  
7.5YR 6/1.5

鹿児島市にある博物館。薩摩藩主島津  
斉彬公によって始められた集成館事業  
の一環として1923年に開館。現在は島  
津家に関する史料や薩摩切子、薩摩焼  
などが展示されている。本館は1865年  
に建てられた。国の重要文化財。日本  
初のアーチを採用した石造洋風建築物。

## 18. 桜島小ミカン

R235 G99 B0  
2.5YR 6/14

世界一小さいミカン。桜島、始良地域  
などで生産される。重さ40～50g、直  
径5cm程の大きさと、小粒ながら甘み  
が強く、独特の芳香がある。  
約100年前に薩摩藩主島津義弘公が文  
禄慶長の役の際、朝鮮半島から持ち帰っ  
たものと伝えられている。

## 24. 縄文杉

R125 G80 B  
5YR 4

屋久島町に自生する最大級の屋久  
樹齢は7,200年とも言われている。  
名前の由来は、縄文時代から生きて  
いることから来たという説と、斧状に  
なる幹の造形が縄文土器に似てい  
らうという説がある。

## 54. アマミノクロウサギ

R64 G62 B59  
10YR 3/0.5

ウサギ目ウサギ科アマミノクロウサギ  
属に分類されるウサギ。奄美大島及び  
徳之島の2島にのみ分布している。絶  
滅危惧 I B類に分類されている。体重  
は1,300～2,700g、頭胴長41～51cm。  
奄美大島で2,000～4,800頭、徳之島で  
約200頭と推定(2003年時点)される。

## 知覧の新茶

R123 G121 B47  
2.5GY 5/6

は鹿児島県内各地で生産されてお  
生産量は全国第二位を誇る。その  
も知覧は山間涼涼の気候で、「知覧  
として全国にその名を知られるほ  
良質なお茶が栽培されることで有  
地城。この色は、知覧の新茶の深  
ある。

## 112. ルリカケス

R12 G68 B130  
7.5PB 3/10

スズメ目カラス科カケス属に分類され  
る鳥類。県の鳥(1965年指定)で、奄  
美大島、加計呂麻島、請島にのみ生息  
するカラス科の非常に珍しい鳥である。  
頭、翼、尾は濃い瑠璃色、くちばしは  
白色、体は赤栗色である。この色は翼  
の色。国指定天然記念物。

## 99. 桜島

R77 G96 B81  
5G 4/2

鹿児島湾(錦江湾)にある東西約12km、  
南北約10km、周長約55kmの火山。  
かつては島であったが、1914年の噴火  
により鹿児島市の対岸の大隅半島と陸  
続きとなった。現在も活動をしている  
世界有数の活火山で、約5,000人が桜  
島と共生して生活している。

## 104. 雄川の滝

R0 G115 B1  
10BG 4

南大隅町の中心街を流れる雄川の  
に落差16m、幅60mの滝。三日月  
会にも紹介されている名勝の滝で、  
川流域の一部が大隅南部県立自然  
の指定を受けている。滝壁面の幾何  
模様の筋理とエメラルドブルーに  
水面が印象的。

## 坊津

R90 G161 B189  
10B 6/6

三大津の一つとして国内外にその  
誇った場所。江戸時代には海外貿  
易拠点として栄え、様々な交易関連  
が現在も残されている。周辺地域  
には、753年に日本に戒律を伝え  
く渡来した唐の高僧鑑真が日本の  
部で最初に着いたと言われる。

## 113. 薩摩切子の島津紫

R82 G49 B107  
5P 3/8

薩摩藩が幕末から明治初頭にかけて生  
産したガラス細工・カットグラス(切  
子)。現在は復刻生産されている。この  
色は、島津産彩が受けた色として(株)  
島津興業 薩摩ガラス工芸が制作した  
もの。上品さと華やかさをあわせ持  
つ色で国内外に人気を博している。

## 115. ミヤマキリシマ

R198 G124 B1  
5RP 6

ミヤマキリシマは県の花(1951年指  
定)。九州に自生するツツジ科の花で  
る。霧島山系一帯を中心に自生し、  
夏の日々を赤・紫・白に鮮やかに彰  
県民の花を愛する心と、四季を通し  
美しい花が見られる鹿児島県を象  
徴する花であるということから指定さ  
れる。

## かるかん

R238 G237 B229  
N9.3

薩摩藩主島津斉彬公が江戸から連れ  
た菓子職人に考案させ、作らせた  
という説が一般的。原材料は、かるか

## 122. 種子鉄

R154 G153 B151  
N6.5

四方を海で囲まれている種子島は砂鉄  
が豊富であり、また歴代の領主の働き  
により、鉄鉄業の技術が蓄積されてい

## 123. ナベツル

R74 G76 B77  
N3.5

出水市は世界有数のツル産地。渡  
来数日本一を誇る。1952年国指定特  
別天然記念物「鹿児島県のツルおよび

## 125. 桜島の灰

R63 G66 B68  
N3

桜島の灰は夏季は東よりの風に乗って  
鹿児島市方面で降灰し、冬季は西よ  
りの風に乗って大隅半島で降灰すること

## 138. 「鹿児島

牧野暁世  
環境色彩学  
研究室  
2018年度  
研究成果発表

# 未来へつなげたい かがんまの色展

2019.2.22(金)～24(日) 10:00am～6:00pm [最終日5:00pm]

かごしま県民交流センター 2階大ホール (於 かごしまデザインフェア 2019 デザイン百賢会)

本研究は JSPS 科研費 JP16K12681 の助成を受けたものです。